

Company Newsletter

Terrace HLDGS

2025.12

TERRACE TIMES



皆が街づくりは、
同じ方向を向いてこそ、
同じ方向で進むことができる。
（吉田茂）

巻頭特集 ひろぎんホールディングス・部谷俊雄社長との対談

解体今昔

桑原組が手掛けた建築物の 「今」と「昔」を巡る

ART BORN HIROSHIMA X LIBERA TERRACE

会社HP
リニューアル
大規模改修いよいよ始動

広報室リポート

奔走した日々の報告

事業部コラム

テラスHD各事業部からの近況報告

No. 04

卷頭特集

ひろぎんホールディングス 部谷俊雄社長との対談

(聞き手 広報室)

地域金融機関として、広島の都市成長や地域活性において強い影響力を持ち続けるひろぎんホールディングス（HD）。近年は開発といった街づくり支援や地域ファイナンス、不動産投資信託など積極的に事業展開しています。今回は、ゲストに同社の部谷俊雄社長をお迎えし、テラスホールディングス（HD）の桑原明夫社長と「広島のこれから」を語っていました。部谷社長は入社後初めての配属がテラスHD本社最寄りの己斐支店という縁があります。対談では、西広島駅周辺の再開発についても話が及びました。

■若い世代を応援したい

—長期的な地域発展を見据え、今最も注目する広島の変化や兆しはありますか。

部谷俊雄社長（以下、部谷） 人口流出問題でどうか。広島は製造業中心で発展しました。それが曲がり角にきており、さらなる発展には新たな付加価値をつけることが必要です。地場企業とスタートアップ企業の持つ技術をいかにマッチングするかが産業再生の一つの契機になると思います。一企業の力だけですべてやり切るのが難しい時代に、外部の力をうまく利用できるかという観点が大事になってしまいます。若者流出の原因もさまざまありますが、「広島飛ばし」と言われるよう、コンサートや全国的なイベントがないなど…。会場の問題もありますが、大型イベントが広島でも開かれると、と若い方に認識してもらうことは極めて意味がありますよね。12月に「TGC 東京ガールズコレクション」が開催されます。運営側と連携協定を結んでいたことから誘致できました。若い世代の応援を具現化するものと期待します。私がランウェイを歩くことはありません（笑）。突っ込んだ話ですが、広島駅北側にアリーナ新設計画が浮上していますね。もちろんバスケットボールBリーグ一部「広島ドラゴンフライズ」の本拠地ということもありますが、それ以外でどう使うかの判断が問われます。人口問題でもう一つ、実は転出の数は昔からさほど変わっておらず、転入の数が圧倒的に減っているんですね。近隣県の子ども世代は東京、海外などへ出でいるかを考えることが肝心な視点です。

桑原明夫社長（以下、桑原） 私たちの子ども世代は面白い街だったの、という気付きを与えるための仕掛けはしたことがあります。グループ会社の桑



部谷俊雄社長（以下、部谷） 人口流出問題でどうか。広島は製造業中心で発展しました。それが曲がり角にきており、さらなる発展には新たな付加価値をつけることが必要です。地場企業とスタートアップ企業の持つ技術をいかにマッチングするかが産業再生の一つの契機になると思います。一企業の力だけですべてやり切るのが難しい時代に、外部の力をうまく利用できるかという観点が大事になってしまいます。若者流出の原因もさまざまありますが、「広島飛ばし」と言われるよう、コンサートや全国的なイベントがないなど…。会場の問題もありますが、大型イベントが広島でも開かれると、と若い方に認識してもらうことは極めて意味がありますよね。12月に「TGC 東京ガールズコレクション」が開催されます。運営側と連携協定を結んでいたことから誘致できました。若い世代の応援を具現化するものと期待します。私がランウェイを歩くことはありません（笑）。突っ込んだ話ですが、広島駅北側にアリーナ新設計画が浮上していますね。もちろんバスケットボールBリーグ一部「広島ドラゴンフライズ」の本拠地ということもありますが、それ以外でどう使うかの判断が問われます。人口問題でもう一つ、実は転出の数は昔からさほど変わっておらず、転入の数が圧倒的に減っているんですね。近隣県の子ども世代は東京、海外などへ出でいるかを考えることが肝心な視点です。

桑原 明夫社長（以下、桑原） 私たちの子ども世代は面白い街だったの、という気付きを与えるための仕掛けはしたことがあります。グループ会社の桑

部谷俊雄社長（以下、部谷） 人口流出問題でどうか。広島は製造業中心で発展しました。それが曲がり角にきており、さらなる発展には新たな付加価値をつけることが必要です。地場企業とスタートアップ企業の持つ技術をいかにマッチングするかが産業再生の一つの契機になると思います。一企業の力だけですべてやり切るのが難しい時代に、外部の力をうまく利用できるかという観点が大事になってしまいます。若者流出の原因もさまざまありますが、「広島飛ばし」と言われるよう、コンサートや全国的なイベントがないなど…。会場の問題もありますが、大型イベントが広島でも開かれると、と若い方に認識してもらうことは極めて意味がありますよね。12月に「TGC 東京ガールズコレクション」が開催されます。運営側と連携協定を結んでいたことから誘致できました。若い世代の応援を具現化するものと期待します。私がランウェイを歩くことはありません（笑）。突っ込んだ話ですが、広島駅北側にアリーナ新設計画が浮上していますね。もちろんバスケットボールBリーグ一部「広島ドラゴンフライズ」の本拠地ということもありますが、それ以外でどう使うかの判断が問われます。人口問題でもう一つ、実は転出の数は昔からさほど変わっておらず、転入の数が圧倒的に減っているんですね。近隣県の子ども世代は東京、海外などへ出でているかを考えることが肝心な視点です。

桑原 明夫社長（以下、桑原） 私たちの子ども世代は面白い街だったの、という気付きを与えるための仕掛けはしたことがあります。グループ会社の桑

街づくりは、皆が同じ方向を見据えてこそ

■人事制度を見直し

—部谷社長は2020年10月にHDの初代社長に就任しました。単なる組織変更ではない構造の進化に向かうどんな使命を感じていますか。

部谷 第一に、パーソス（存在意義）をいかに具現化するかという点です。HDでは人事制度の抜本的な見直しにより、若手の挑戦を後押ししているそうですね。

—経営者人材の育成に関し、ひろぎんHDでは人事制度の抜本的な見直しにより、若手の挑戦を後押ししているそうですね。



@ひろぎん
ホールディングス

ひろぎんホールディングス
社長

部谷 俊雄
(へや・としお)

慶大商卒。1983年広島銀行入行、16年取締役常務執行役員を経て、18年頭取。20年より現職。65歳。広島市生まれ。

■建築物解体工事
■環境リスク対策（土壤汚染、アスベスト対策）
■リサイクル処理

Kuwahara



人と街の歴史を未来につなげる街づくり

本社：広島市西区己斐本町3丁目17-24
お問い合わせ先：082-272-6006（代表）





タウンホールミーティングの様子（ひろぎんHD提供）

（）言っていますが、社員が1000人いたとして、うち900人がそれを理解できても駄目。まさに1000人全員が理解しなければ組織は正常に稼働しません。私たち経営陣が現場に赴き、若手社員と話をする「タウンホールミーティング」を年50カ所ほどで催します。若い人たちと接点を持ち、互いに思いをぶつけ合うといったこともします。私が知りたいのは、彼らがどんな思いで仕事をしているのかということ。現場で何が起こっているのか知りたい。一方、彼らは経営層の考え方を知りたいでしょう。それをつなぐ機会にしています。

桑原 会社の課題は、各自の思いを共有しきれていない点ですね。今後の施策として、事業部間の横断やそれぞれの意見を吸い上げるコミュニケーションを取るといった機能を果たすことにあります。どう実践するのかがポイントですよ。

—23年4月には100数十カ所ある支店での業績評価制度も廃止されたのですか。

部谷 当初はネガティブな意見が多くつたですよ。私が「廃止する」と言つて

から社内で大反対も食らい、約4年かけて遂行しました。業績評価があることの弊害は、同じ銀行の支店同士がライバルとなるため情報共有をしない点にあります。自分たちはこういう方法で成功した、だからよそには言わないなど。こういう制度が大嫌いでした。社長就任後に本制度は廃止すると決めました。人事制度改革も然りです。「ジエネラリスト」だけではなく、専門的な知識を積み上げていく「スペシャリスト」を育成する制度を作りました。自分の好きなことをする方が社員も成長するはずです。究極の理想論は、自分がしたいことをして成長を促し、その集合体である組織を形成することでした。

桑原 うちには貴社ほどの人員はないので、一人にかかる負担は多くなります。今のお話は理想的ですね。ただ、それが補完し合えるかという点で、結局誰かにしわ寄せが行ってしまうだろうな…、まだまだ課題はあるな、と思いつながらお聞きしていました。

■西広島駅エリアの再開発

—都市の変化に対してもう一方へと街づくりを導きたいですか。

部谷 言うまでもなく、広島には平地が少ない。狭い地下も使えない。そうなると上にあげるしかない。観光面では宮島と平和公園の二カ所。これで良いのでしょうか？ 広島市内を回遊してもらうような街づくりが必要です。広島駅と紙屋町・八丁堀エリアをどのようにつなげられるか考えます。

桑原 私は生まれも育ちも「己斐つ子」なので、今ご縁があつて貴社や、JR西日本さんにお声掛けして、いろいろとおせつかい提案させてもらっています。地元の方のご意見も頂戴しながら、街の未来を一緒に描きたいです。

部谷 幼い頃、正月にその己斐支店に



ます。10年後の広島の街の姿をどう想像しますか。

桑原 昔は「札仙広福」と言っていたのに、現在は広島だけが取り残された印象です。福岡はエネルギーな街で、「国家戦略特区」指定を受け、再開発プロジェクト「天神ビックバン」のインパクトもあります。30年ほど前に福岡市がインフラに注力していた頃、大渋滞が発生して「大丈夫なのか？」と思いましたが、今振り返ると広島はやはり策が打てていなかつたという…。広島駅の再開発など活性化の兆しが出てきた今、ここで踏ん張つて本当に魅力のある街づくりを進めなければ、若い子たちが帰つてこない。自ら進んで戻つてくる「ふるさと」に何とかしていきたいですね。

部谷 方向感は皆似てるものがありますが、その手段や方法論がまったく異なる。よく話すことなのですが、わが社も広島もいわゆる「平均点以上」なんですよ。残念なのは、そこで終わってしまうこと。とがつたものがないんです。全国的に見ると10数番目にランクインはする。唯一「これ」というものがなかなかない。これが弱点です。それなら、いろいろなものを結びつけるしかないんです。私の任期中にといつてもそう長くはできないですし、橋渡しは



広島銀行旧本店建物（ひろぎんHD提供）

ひろぎんホールディングス 会社概要

広島県、岡山県、山口県、愛媛県を主な営業基盤に、銀行業のほか証券、リースなどの金融分野やIT関連などの事業を展開する。2020年10月設立（広島銀行は1878年創業）。従業員数は3689人（25年3月末時点）。



—桑原組は解体実績1万件を超えて、広島銀行旧本店建物の解体工事も担当しました。街づくりにさまざまな業態・業種が参画することで多様化も見込め

ます。

桑原組は解体実績1万件を超えて、広島銀行旧本店建物の解体工事も担当しました。街づくりにさまざまな業態・業種が参画することで多様化も見込め

簡単ではない。後任者へ私の路線を譲り下さい、との思いもありません。それは次の人を考えれば良いことです。ただし、ベースとなるパーカスは変えちゃいけない。結局「自社だけ」「行政単体だけ」では何もできません。皆が同じ方向を見据え、一人勝ちではなく進むという思いが大切です。

桑原 部谷社長のお話を受けた後だと「とがつた」印象になるかも知れませんが、やはり差別化できる技術集団だと思います。その前提のもと、唯一無二の提案ができる企業でありたいと思います。



建て替え前



建て替え後

写真：アンドルセン・パン生活文化研究所提供

解体今昔～広島アンデルセン～

広島本通商店街の象徴的存在である「広島アンデルセン」。パンと北欧の文化が融合した空間は、世代を超えて多くの市民に愛され、広島にパン文化を根付かせたとも言えるでしょう。旧店舗はもともと1925年に三井銀行広島支店として竣工した建物を活用したもので、被爆建物としても知られています。

20年、耐震性の問題などを背景に建て替えが決定。歴史的建築の解体という大役を桑原組が担当しました。繁華街の中心という立地上、特に気を配ったのは粉じん・騒音対策です。歩行者への安全確保を最優先に、養生や解体順序を慎重に設計し、地域の方々の協力を得ながら進行しました。

現在のアンデルセンは、「デニッシュュモダンな空間に生まれ変わり、ベーカリー、レストラン、カルチャーセンター、パンケットルームを兼ね備え「パンのある暮らし」を提案しています。このように、建物と街、人との暮らしをつなぐ「縁」を大切に、私たちはこれからも解体のその先にある未来を見つめていきます。

このたび、当社ホームページ（HP）の大規模リニューアルプロジェクトが始動しました。数カ月にわたり複数社からご提案をいただき、最終的に中国新聞アドさんに制作を担当いたしました。今後は3年ほどの計画で、段階的に進めていきます。リニューアル対象は、テラスホールディングスのHPはじめ、桑原組、グランゲートのサイトです。既存の会社紹介などの基本構成は活かしつつ、必要に応じて情報の整理、タブの追加、データ解析の導入など、さまざまな方向から見直しを行います。現在はより良い

HPづくりを目指し、本社および広島オフィスにて各事業部へのヒアリングを実施中です。現行サイトの課題や理想像について語り合いながら、会社の強みや特徴を改めて見つめ直す時間となっています。このリニューアルは、社内外の声を丁寧に拾い上げながら、「伝え方」や「使いやすさ」の再設計を行う取り組みです。ユーチューバーにとって魅力的で、会社や社員の活動がより伝わるウェブサイトへと進化させることを目指しています。今後も進捗については随時ご報告していくので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



広島オフィスでヒアリング

ホームページ大規模リニューアル始動

リベラテラスにアート作品を掲示します！

12月より、テラスホールディングスが運営する大型フードホール「グランゲート広島」内イタリアン「リベラテラス」にて、購入可能なアート作品の掲示が始まりました。この企画は、2024年11月にオープンしたギャラリー兼アトリエ「ART BORN HIROSHIMA（アートボーンヒロshima）（広島市中区）」とのコラボレーションにより実現しました。アートボーンヒロshimaの運営は「広島マツダ」を中心とする全国のマツダディーラーの中で最も長い歴史をもつ「ヒロマツホールディングス」。広島のアンダーグラウンドアートシーンを盛り上げる場として



浅野堅一さんの作品

注目されています。リベラテラスはその「サテライトギャラリー」として、3ヶ月ごとに作品を入れ替え展示していく予定です。

第一弾では、写真家・浅野堅一さんによる写真作品4点を展示。「ファインアート（純粹芸術）」としての写真作品の制作を中心に行っている浅野さんは、広島だけでなく国内外の展覧会にも参加している方です。今回の4作品の特徴として「肉眼では捉えられない、花の持つ美の侧面を、デジタル技術と合わせることで映し出しています」とコメントをいただきました。店内では浅野さんの世界観を感じることができます。展示期間は12月1日から2025年2月28日まで。作品はすべて購入可能で、気に入った作品があればご自宅でもお楽しみいただける機会となっています。



浅野堅一さんの作品



広島の新築・リノベーション施工会社

- 施工管理 株式会社桑原組
- 新築住宅 無印良品の家 広島西店

Kuwahara

お問い合わせはこちから



住む人の暮らしに合わせて変えられる
そんな住まいの提案をしています

本社：広島市西区己斐本町3丁目17-24
お問い合わせ先：082-272-6006（代表）



食器も太陽の光でキラキラ



〔以上報告 朝田 真由〕

最高気温30度を超えた夏日となつた2日間でしたが、来場者の「なにか素敵な掘り出し物はないかしら」と宝探しを楽しむ姿が見られました。テントの下に並ぶ食器たちが、太陽の光を浴びてキラキラと輝く様子は、まさに屋外イベントならではの光景でした。

ンテージ生地などを扱う11店舗が集まり、会場は個性あふれるアイテムで溢れました。グランゲート広島からは「ザスタンダードベイカーズ」、広島中央図書館からも移動図書館「ともはと号」が参加し、自由に本を手に取れるスペースや、子ども向けの読み聞かせも実施しました。

■ 第8回リヴァーチェ開催

＼ 広報室SNSも更新してます！／



■動画版社報で全編配信中
★国際ホテル解体完了

■動画版社報で全編配信中

広島のランドマークの一つであった「ひろしま国際ホテル」の解体工事は、2024年6月の着工から1年3ヶ月

を見学しました。同展は、広島広告協会が年に一度、審査・顕彰した広告作品を展示するものです。2024年4月から25年3月にかけて発表されたすべての応募作品 計114点が一堂に会し、来場者はそれぞれの作品をじっくりと鑑

中心とした広報メンバーが集まる研究会「第17回 Sun Kou Kai」が広島JPビルディングで開かれました。テラスホールディングス広報室も参加する同会、今年は総勢10社23人が集まりました。JPビルディング内のオフィスや施設を見学したあと、各社の近況報告やテーマ別の討論・意見交換会を行いました。夕方からは懇親会もにぎやかに開催されました。

次号より社報の編集長を後任に引き継ぐこととなりました。在京メディアの報道記者から転職して約1年。第0号から第4号まで、5回にわたりこの社報を企画・編集できたことは、私にとって非常に貴重な経験となりました。企画立案にあたっては大きな裁量をいただき、自らの視点や想いをもとに、自由に紙面を構成する機会に恵まれたことに深く感謝しております。

社報を通じて、広島の経済界をけん引する方々へのインタビューや、また社内の各事業部の取り組みを掘り下げる企画など、多くの出会いと学びがありました。紙面の制約やスケジュールの厳しさなど、制作においては決して容易ではない場面もありましたが、だからこそ「伝える」という當みの尊さを改めて実感することができました。現役の頃よりも「記者用字用語ブック」を確認する回数が増えました…。

「TIME'S+」は、実はスタジオではなく、オフィス内の一室で撮っています。館内巡回は、JPビル内の企業や施設の協力も得ながら、約1時間にわたり駆け足ながらも要所を見て回ることができました。意見交換会では、事前に各社から集まつた質問を中心に、活発な議論が交わされました。参加者はいずれも広報やデザインの最前線で活躍する同会メンバー。日頃抱える課題や、今後取り組んでいきたいテーマについて、共感し合いながら、新たな視点を得られる貴重な時間となりました。最後は恒例の集合写真撮影し、和やかな雰囲気のうちに会を締めくくることができました。ご参加いただいた企業・個人の皆さん、本当にありがとうございました。

ながら、新たに視点を得られる貴重な時間となりました。最後は恒例の集合写真撮影し、和やかな雰囲気のうちに会を締めくくることができました。ご参加いただいた企業・個人の皆さん、本当にありがとうございました。



皆さまありがとうございました！



以上報告編集長

ながら、新たに視点を得られる貴重な時間となりました。最後は恒例の集合写真撮影し、和やかな雰囲気のうちに会を締めくくることができました。ご参加いただいた企業・個人の皆さん、本当にありがとうございました。

の協力も得ながら、約1時間にわたり駆け足ながらも要所を見て回ることができました。意見交換会では、事前に各社から集まつた質問を中心に、活発な議論が交わされました。参加者はいずれも広報やデザインの最前線で活躍する同会メンバー。日頃抱える課題や、今後取り組んでいきたいテーマについて、共感し合いながら、折りよく見点を得られる貴重な会合となりました。

中心とした広報メンバーが集まる研究会「第17回 Sun Kou Kai」が広報JPビルディングで開かれました。テラスホールディングス広報室も参加する同会、今年は総勢10社23人が集まりました。JPビルディング内のオフィスや施設を見学したあと、各社の近況報生やテーマ別の討論・意見交換会を行い夕方からは懇親会もにぎやかに開催しました。

編集長あいさつ

次号より社報の編集長を後任に引き継ぐこととなりました。在京メディアの報道記者から転職して5回にわたりこの社報を企画・編集できたことは、私にとって非常に貴重な経験となりました。企画立案にあたっては大きな裁量をいただけ、自らの視点や想いをもとに、自由に紙面を構成する機会に恵まれたことに深く感謝しております。

【おことわり】
今号の「社員の推し活紹介」「ナ」は
お休みさせていただきます。
次回の掲載まで、どうぞお楽しみにお
待ちください。

事業部コラム

{ 環境リスクマネジメント事業部 }

丸田 早貴

11月から営業として新しい仲間を迎えるました。これにより部署の体制がより一層強化され、来期に向けて営業力の向上を図っていくことが期待されます。さらに、営業強化の取り組みとして、定期的な営業ミーティングを実施し、情報共有と戦略づくりを充実させていく予定です。

また今月より、新たな広島県発注の公共工事が始動しました。安全管理と工程調整が求められる現場ですが、協力会社との連携を図りながら着実に工事を進めていきます。

来期も桑原組は成長を止めず挑戦を続け、地域に貢献できる現場づくりを進めてまいります。



{ 東京オフィス }

中沖 健太

今年2月より着手していた都内マンションの耐震補強工事に伴う解体作業が、10月に無事完了いたしました。今回の現場は、大規模修繕工事と耐震補強工事を同時に進めるという、非常に珍しいケースでした。また、私にとっては初めての耐震工事への参加ということもあり、多くの学びを得る機会となりました。

修繕工事と耐震工事、それぞれの工程を擦り合わせながら進める調整の難しさや、初めて経験した「コア抜き作業」における安全対策の重要性など、現場でなければ得られない実践的な知識と経験を積むことができました。

築年数のある建物であったため、図面と実際の構造が異なる箇所も多く、施工に苦労する場面もありましたが、関係各所の皆さまのご協力のおかげで、大きなトラブルもなく、無事故・無災害で完了することができました。この結果に、大きな達成感を味わっています。

{ 住空間創造事業部 }

安井 典子

当部署の事業内容は、3Mフィルム施工、戸建て新築、不動産(土地)、リノベーション、空き家管理、木造解体工事など多岐にわたります。事務業務では、各担当者と密にコミュニケーションを取りながら、円滑に業務を進めています。

幅広い分野に携わるため、業界のトレンドや時代の雰囲気を肌で感じられる点が、この環境の魅力の一つです。また、リノベーションに関する図面作成も担当しており、これまでに会社事務所の改修工事や、店舗の新装工事などに携わってきました。

新たな空間を生み出す創造のプロセスは非常に奥深く、完成後の空間が見違えるように生まれ変わる様子は、大きな達成感をもたらしてくれます。この仕事は、人々の心に響き、未来をより良い形へと導くために寄り添う、そんな意義のあるものだと感じています。



{ 経営企画部 }

的 尚也

●人事総務：年末調整などの定型業務に加え、今年は給与システム変更も同時期に重なっており、例年以上に業務が集中しています。今回のシステム変更はグループ全社員に関わる重要な取り組みであり、ミスの許されない作業です。正確かつ迅速に処理できるよう、細心の注意を払って対応しています。また、11月17日には新たな仲間が入社しました。新体制のもと、より良い運営体制を築けるよう、引き続き尽力してまいります。

●経理：11月は決算月にあたり、経理部門にとって一年で最も忙ただしい時期を迎えています。まずは正確な数値の把握を徹底し、ミスのないよう丁寧に業務に取り組んでいきます。あわせて、会計システムおよび原価管理システムの新システムへの移行作業も進行中です。毎年のことながら、申告までの期間はあっという間です。1日1日を大切に確実に業務を進め、すがすがしい年末年始を迎えるよう努めてまいります。

{ THE STANDARD BAKERS }

森 未由希

10月は福屋広島駅前店の「パンフェア」に5日間ブースを出店しました。これまでのイベントとは異なり、食品売り場の一角でパンを販売するという形式だったので、パンを目的に来場されるお客様は少なく、当店やパンを知らない方々に興味を持っていただく必要がある環境でした。

このイベントでは「芋ツツェル」と「カスタードホップメロンパン」を先行販売し、接客にもさまざまな工夫を凝らして臨みました。限られた時間の中で、いかにして商品の魅力を伝えるかを試行錯誤したことは、大きな学びとなりました。

この経験を通じて、今後も新たなスタンダードベイカーズの魅力をより多くの方へ発信していくたいと感じています。



{ LIBERA TERRACE }

恵良 麻美

グランゲートは、この9月におかげさまでオープン2周年を迎えました。リベラテラスでは周年を記念して、特別コースをご用意し、たくさんのお客さまにご来店いただきました。ご来場くださった皆さま、誠にありがとうございました。

3年目も、お客様に喜んでいただけるお料理と心のこもったサービスで、最高のおもてなしができるよう、スタッフ一同さらに努力してまいります。

なお、12月には「クリスマスランチ」をはじめ、21日～25日までの期間限定で「特別ディナー」もご用意しております。皆さまのご来店を心よりお待ちしております。



Terrace HLDGS?

